

結成60年記念ツアー イ・ムジチ合奏団

MUSICI

秋田公演



アトリオンこけら落とし以来、22年ぶりの再演

必聴、イ・ムジチのヴィヴァルディ「四季」を再び

©Photo by Tommy Della Frana

～イ・ムジチの「オスカー」～

♪ **バカロフ** (1996年アカデミー賞作曲賞受賞) : **合奏協奏曲** (イ・ムジチ結成60年記念作品)
※ヴァイオリン: アントニオ・アンセルミ

♪ **モリコーネ** (2007年アカデミー賞名誉賞受賞) : 「**組曲**」 (イ・ムジチ結成60年を祝して)
—「カジュアリティーズ」より メインテーマ
—「海の上のピアニスト」より 愛を奏でて
—「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ」より テボラのテーマ
—「ミッション」より ガブリエルのオーボエ
※ヴァイオリン: マルコ・セリーノ

♪ **坂本龍一** (1988年アカデミー賞作曲賞受賞) : 「**ラストエンペラー**」テーマ
—イ・ムジチ結成60年のために

～イ・ムジチの「四季」～

♪ **ヴィヴァルディ** : **ヴァイオリン協奏曲集「四季」op.8**
※ヴァイオリン: アントニオ・アンセルミ

2011.

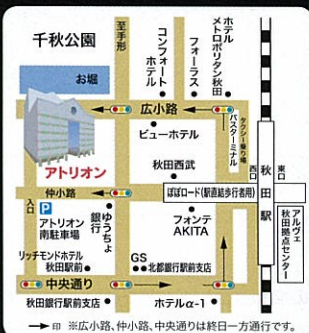
10.2日

アトリオン音楽ホール
15:00開演 / 14:30開場
(17:00終演予定)

全席
指定

一般前売り / 5,500円 (当日 / 6,000円)
学 生 / 3,000円※

※学生券の対象は25歳までの学生で、ご入場の際は学生証の提示が必要です。
◆前売りにてチケットが完売した場合、当日券の販売はありません。
◇小学1年生のお客様からご入場できます。小学1年生以上のお客様は入場券が必要です。



主催 / 秋田県
AAB秋田朝日放送
お問い合わせ
秋田アトリオン事業部
☎ (018) 836-7803
秋田市中通 2-3-8 アトリオンビル 5F
<http://www.kosei-buil.co.jp/atorion/>
アトリオン音楽ホール 検索



プレイガイド

秋田市 caoca 広場(トピコ) 018(833)2416
秋田市 県産品プラザ曙橋(アトリオン8F) 018(836)7830
秋田市 ジュンク堂書店秋田店 018(884)1370
秋田市 カワイ楽器秋田ショップ 018(834)2137
秋田市 ヤマミュージック東北秋田店 018(835)5091

秋田市 県消生協(県庁売店) 018(860)3570
秋田市 細川レコード店 018(845)0020
大仙市 タカヤナギ イーストモール 0187(62)1001
曲利本荘市 ササヤレコード店 0184(23)3511
横手市 イオンスーパーセンター横手南店 0182(35)2340
湯沢市 おびきゆう 0183(73)1121

託児サービス(無料) 生後5ヶ月～小学3年生のお子さまをお預かりします。お申し込みは10日前までにどうぞ。



©Photo by Corine Veysselier

結成60年記念ツアー イ・ムジチ合奏団

秋田公演

アトリオンこけら落とし以来、
22年ぶりの再演、
必聴のイ・ムジチ「四季」を再び

イ・ムジチ合奏団 I Musici

1952年、12人の若く才能溢れる、サンタ・チェチーリア音楽院の卒業生たちによって弦楽合奏団が結成された。編成は、ヴァイオリン6人、ヴィオラ2人、チェロ2人、コントラバス1人、そしてハーブシコード1人で、弦楽器のレパートリー、特に18世紀イタリアの作曲家たちの楽曲を現代に蘇らせることを目指した。

彼らはシンプルで、かつ響きの良い「イ・ムジチ」という名前をアンサンブルのために選び、指揮者を置かないことを選択した。つまり12人の仲間達が友情をもって、平等主義のもとに音楽をすることを目指したのである。それは、リハーサルでもコンサートでも、楽曲の演奏法、解釈における問題を合議制で解決することを意味した。それは、彼ら以前には見られなかった手法であったが、意外にも彼らに合ったやり方であることがわかった。

1952年4月、ラジオ放送用にリハーサルしているイ・ムジチを聴いたイタリアの大指揮者・トスカニーニが、ジャーナリストや音楽界の人々の前で、彼らについて熱っぽく語り、自らの写真に『素晴らしい！絶品だ！まだ音楽は死んでいなかった！』という言葉を送って彼らに贈った、というのは、いかにも象徴的な出来事であった。

それより数週間前の1952年3月30日、彼らの公式デビュー・コンサートがサンタ・チェチーリア音楽院で行われ、大成功を収めた。まさにこのときが、その後の驚異的な数々の成功の始まりであった。彼らは瞬く間に世界の一流演奏家達に並び称される存在にまで登りつめた。

以来半世紀余、イ・ムジチの合奏と変わらぬサウンドは、それぞれの作曲家のスタイルと特徴を尊重しつつ、同時に、いかなる学術的な独断主義にも束縛されることなく、自由な解釈を提示しつづけている。

ロバート・シャーマン (New York Times) 評

『イ・ムジチこそ、その後のこの形態のグループの原型である。彼らは指揮者なしで、メンバー全員がソリストとして演奏する。彼らの演奏はいつでも、彼らの自発性の発露そのものであり、12人のアーティストの才能によって磨かれた精緻な芸術作品のようなものだ。どの様式で演奏しても、イ・ムジチは生命の根源的な衝動を呼び起こす。彼らの演奏は、五感に訴えかけ、様式美に溢れ、非の打ちどころがない芸術性を湛えている。弦楽四重奏団のような明瞭さと精密さを犠牲にすることのない、弦楽オーケストラとしての彼らの完璧な合奏能力には、驚かされずにいられない。イ・ムジチは、極めて繊細な音の濃淡、バランス、フレーズを湛え、リズムミクナ躍動感は揺るぎなく、かつ、音の確かさは保たれていた。』

ヴェルニエロ・リッツアアルディ (Nuovo di Venezia) 評

『イ・ムジチは今なお、イタリアの器楽文化の最高の代名詞の一つである。』

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さい。

- ① やむを得ない事情により、出演者・曲目などが変更になる場合がございます。
- ② お買い求めいただきましたチケットのキャンセル、変更はできません。
- ③ 演奏中は入退場できません。

- ④ 小学1年生のお客様からご入場できます。小学1年生以上のお客様は入場券が必要です。また、ご入場には1人1枚チケットが必要です。
- ⑤ 場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。
- ⑥ ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因となりますのでお断りいたします。